2025年7月15日

各　位

会社名　　株式会社ﾃﾞ・ｳｴｽﾀﾝ・ｾﾗﾋﾟﾃｸｽ研究所
代表者名　代表取締役社長　　日高　有一
（コード番号:４５７６）
問合せ先　取締役　　松原　さや子
ＴＥＬ　０５２－２１８－８７８５

新規パイプライン「H-1129」の開発決定のお知らせ

当社は、本日、自社創製品である「H-1129」を新たなパイプラインとして設定し、免疫異常を基盤とする角結膜疾患治療薬として開発を行うことを決定いたしましたのでお知らせいたします。

「H-1129」は、当社の創薬エンジンを用いて創出された Rho キナーゼ阻害剤です。緑内障治療剤として2019年まで開発を行っていましたが、国内第Ⅲ相臨床試験にて開発中止となりました。その後、知的財産の有効活用及びキナーゼ阻害剤のポテンシャル発揮の観点から、他疾患への適用を検討しておりました。

免疫異常を基盤とする角結膜疾患は有効な治療薬が望まれる重篤な疾患であります。そのような疾患での開発は、当社の成長戦略に資するものと考えております。

なお、今後の開発計画については、2025 年度下期から治験薬製造等の準備を行い、2026年度中の臨床試験開始を目指してまいります。また、「H-1129」は既に第Ⅰ相臨床試験を実施しているため、治験の進め方によっては第Ⅱ相臨床試験からの開始を検討できると考えております。開発計画については詳細が決定次第、速やかにお知らせいたします。

本件による2025年12月期業績予想の変更はありませんが、今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかにお知らせいたします。

以　上

H-1129について

H-1129は、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とする当社化合物ライブラリーのシード化合物を基にして最適化されたRhoキナーゼ阻害剤です。本剤は、各種プロテインキナーゼを阻害することにより、強い眼圧下降作用（線維柱帯－シュレム管を介して主流出路からの房水流出を促進し眼圧を下降）を有することが示唆されたため、緑内障・高眼圧症を適応症として開発を進めておりましたが、2019年の国内第Ⅲ相臨床試験にて開発中止となりました。